

環境経営レポート

第18版

対象期間 2024年10月21日～2025年10月20日



2025年11月14日 作成

目 次

1. 組 織 の 概 要	1
2. 対 象 範 囲	2
3. 環 境 経 営 方 針 (経 営 理 念)	2
4. 環 境 経 営 目 標	3
5. 環 境 経 営 計 画 と 実 績	3
6. 取 組 内 容 と 実 績	4
7. 環 境 活 動 実 施 体 制	5
8. 環 境 経 営 計 画 の 実 績 ・ 取 組 結 果 と そ の 評 価、 次 年 度 の 取 組 内 容	6
9. 環 境 関 連 法 規 等 の 遵 守 状 況 の 確 認 及 び 評 価 の 結 果 並 び に 違 反 、 訴 訟 等 の 有 無	1 2
10. そ の 他 の 活 動 (環 境 貢 献 活 動)	1 3
11. 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 と 見 直 し の 結 果	1 6

1. 組織の概要

事業所名

不二総合コンサルタント株式会社
代表取締役 牧田 敏明

設立

1961年11月

規模

従業員数 236名
床面積 4,574㎡

所在地

本社 浜松市中央区初生町 889 番地の 2
名古屋支店 名古屋市中区錦二丁目 19 番 6 号 名古屋野村証券第 2 ビル 8 階
掛川支店 掛川市久保一丁目 2 番 3 号
静岡支店 静岡市駿河区東新田三丁目 2 番 1 号
沼津支店 沼津市新宿町 3 番地の 5
磐田営業所 磐田市今之浦四丁目 4 番 2 号
袋井営業所 袋井市掛之上 7 番 2 号
島田営業所 島田市道悦五丁目 4 番 43 号
藤枝営業所 藤枝市田沼一丁目 24 番 8 号
富士営業所 富士市緑町 6 番 36 号 (3 階)



事業内容

総合建設コンサルタント

設計 … 土木設計（道路、橋梁、海岸、河川、砂防、上下水道、農地など）
計画 … 都市計画（街づくり、公園、区画整理など）
開発 … 造成設計（公共施設、商業施設、工業団地、住宅団地などの開発）
測量 … 地上測量、深淺測量、UAVによる写真測量・レーザ測量
調査 … 物件調査、環境調査
保全 … インフラ点検、老朽化対策
情報 … システム開発、保守業務、GIS、CG、3Dモデル作成

環境管理責任者

山田 真弓 [技術監理室 室長]

担当者連絡先

エコアクション21事務局 石川 幸靖

☎ 053-439-6127 mail: info@fujisougou.co.jp

弊社ホームページ URL: <https://www.fujisougou.co.jp/>

2. 対象範囲



認証登録範囲

測量業、建設コンサルタント業、補償コンサルタント業、建築設計業、地質調査業
(全社全組織を対象とする)



認証・登録番号

0003298

3. 環境経営方針(経営理念)

経営理念

わたくし達は

高品位な技術と人間性を高め、
人間をつつむ文化と自然との融和を図り、
生命に優しい環境創造を通して社会に奉仕し、
会社の繁栄と従業員の幸福を追求していくことを
経営理念とする。

環境経営方針

1. 建設コンサルタント業の自らの事業活動において、環境に配慮した最新技術等の情報提供・提案を積極的に実施します。
2. 企業活動の中で、温室効果ガス排出量（電気、ガソリン、軽油、都市ガス等）の削減、一般廃棄物（紙類、段ボール等）の再利用及び削減、総排水量の削減ならびにグリーン購入の推進に努めます。
3. 事業を行うにあたって、環境関連法規等を遵守します。
4. 環境保全関連の教育訓練を実施します。
5. 当社の基本方針を社員へ周知徹底し、社外へも公表します。
6. 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定 2007年10月21日

改定 2024年12月10日

不二総合コンサルタント株式会社
代表取締役 **牧田 敏明**

4. 環境経営目標

環境目標項目		【基準値】 第64期 実績	第65期 目標	第66期 目標	第67期 目標
環境に優しい最新技術等の提案 (全体件数に対する割合 %)		67	提案に努める		
温室 効果 ガス	二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂)	223,103	220,872 (-1%)	218,641 (-2%)	216,410 (-3%)
	内訳				
	購入電力量削減 (kg-CO ₂)	112,890	111,761 (-1%)	110,632 (-2%)	109,503 (-3%)
	化石燃料使用量削減 (kg-CO ₂)	110,213	109,111 (-1%)	108,009 (-2%)	106,907 (-3%)
一般廃棄物の削減(紙類) (t)		7.9	維持管理に努める		
水使用量削減 (m ³)		1,926	節水に努める		
グリーン購入の推進・再生杭使用 (全体件数に対する割合 %)		100	100	100	100

注1 目標値の下限(%)は、基準値に対する目標比を表します。

注2 環境に優しい最新技術等の提案については目標に達しているため、第61期より定性目標とします。

注3 CO₂係数は、「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)ーR4 年度実績ー R5.12.22」の中部電力ミライズ(株)の調整後排出係数 0.459(kg-CO₂/kWh)を、第63期より継続使用します。

注4 一般廃棄物の削減(紙類)がほぼ下限に達しているため、第61期より定性目標とします。

注5 水使用量はほぼ下限に達しているため、第52期より定性目標とします。

注6 測量杭には再生杭の使用に努め、グリーン購入を推進します。

5. 環境経営計画と実績

活動項目	責任者	活動内容	第64期 達成度
環境に優しい最新技術等の提案	部門長	業務の中で環境に配慮した最新技術等の提案を行う	B
		情報の提供・提案	B
購入電力量削減	GP リーダー	エアコンの温度設定を徹底する (冬季21度以下、夏期27度以上)	A
		不要電気の消灯を徹底する (エリア消灯、電気機器類消灯)	S
		エレベーターの使用を控える (使用する場合は3フロア以上の移動)	A
化石燃料使用量削減	"	車両点検を徹底する(週1回の点検)	C
		エコドライブを徹底する (急加速、急発進、無駄なアイドリングをしない)	B
		社内におけるリモート会議を積極的に活用する	A
一般廃棄物の削減 (紙類)	"	紙の再利用を推進する(社内文書への利用等)	B
		ドキュワークス、PDFの使用を推進する	A
		裏面/両面コピー・印刷を推進する	A
		電子メールを活用する	A
グリーン購入の推進 (測量杭、コピー用紙、事務用品、日用品の再生品使用)	"	ノートPCを使用したペーパーレス会議を推進する	C
		エコマーク商品の積極的購入	S
		再生杭、再生紙の購入	S

注 達成度は、総務担当取締役及び環境管理責任者による5段階評価「S(最高)・A・B・C・D(最低)」とする。

活動項目	月度の活動予定											
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1. 環境に優しい最新技術等の提案												
	年間を通じての活動											
2. 購入電力量削減												
	年間を通じての活動 (エアコン以外)						年間を通じての活動 (エアコン (冬期21度以下) / エアコン (夏期27度以上))					
3. 化石燃料使用量削減												
	年間を通じての活動											
4. 一般廃棄物の削減 (紙類)												
	年間を通じての活動											
5. グリーン購入の推進・再生杭の購入												
	年間を通じての活動											

6. 取組内容と実績

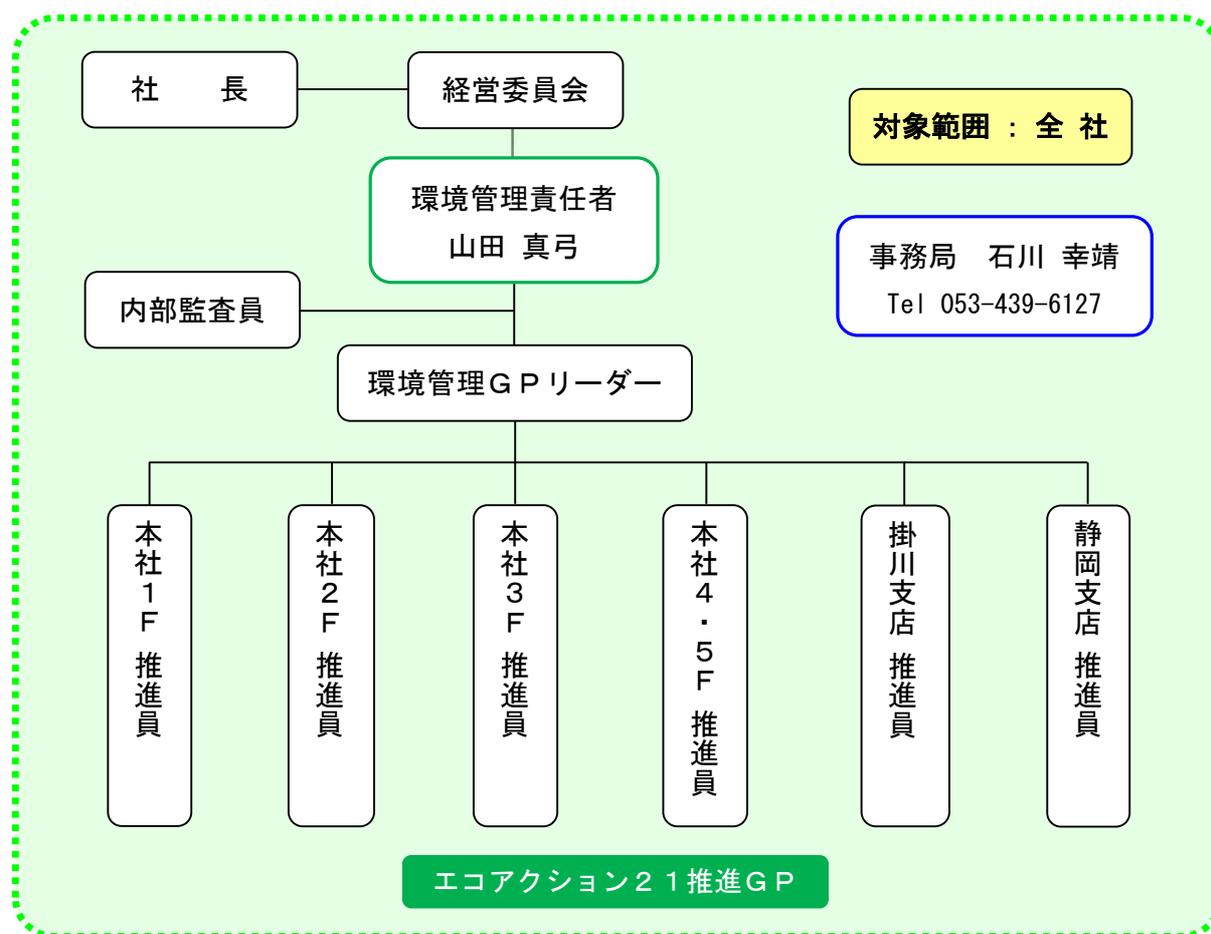
環境目標項目		第62期実績	第63期実績	第64期目標 a	第64期実績 b	b/a	評価
環境に優しい最新技術等の提案 (全体件数に対する割合 %)		提案に努めた		提案に努める	提案に努めた		○
		65 %	67 %		67 %		
温室効果ガス	二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂)	222,002	220,131	217,930	223,103	1.02	△
	内訳						
	購入電力量削減 (kg-CO ₂)	103,837	119,152	117,960	112,890	0.96	○
	化石燃料使用量削減 (kg-CO ₂)	118,165	100,979	99,969	110,213	1.10	△
一般廃棄物の削減 (紙類) (t)		維持管理に努めた		維持管理に努める	維持管理に努めた		○
		9.0	9.1		7.9		
水使用量削減 (m ³)		節水に努めた		節水に努める	節水に努めた		△
		2,021	1,899		1,926		
グリーン購入の推進・再生杭使用 (全体件数に対する割合 %)		100 %	100 %	100 %	100 %	1.00	○

注1 第64期実績のCO₂係数は「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)－R4年度実績－R5.12.22」の中部電力ミライズ(株)の調整後排出係数0.459(kg-CO₂/kWh)を、第63期より継続使用します。

注2 二酸化炭素排出量削減については、都市ガスと液化石油ガス(LPG)を含んだ値とします。

注3 評価「○」は目標達成、「△」は目標未達とします。

7. 環境活動実施体制



グループ名	部・支店・営業所名
本社1Fグループ	総務部、営業部
本社2Fグループ	設計部、名古屋支店
本社3Fグループ	測量調査部
本社4・5Fグループ	地域開発部、技術監理室、DX推進室
掛川支店グループ	掛川支店、磐田営業所、袋井営業所
静岡支店グループ	静岡支店、沼津支店、島田営業所、藤枝営業所、富士営業所

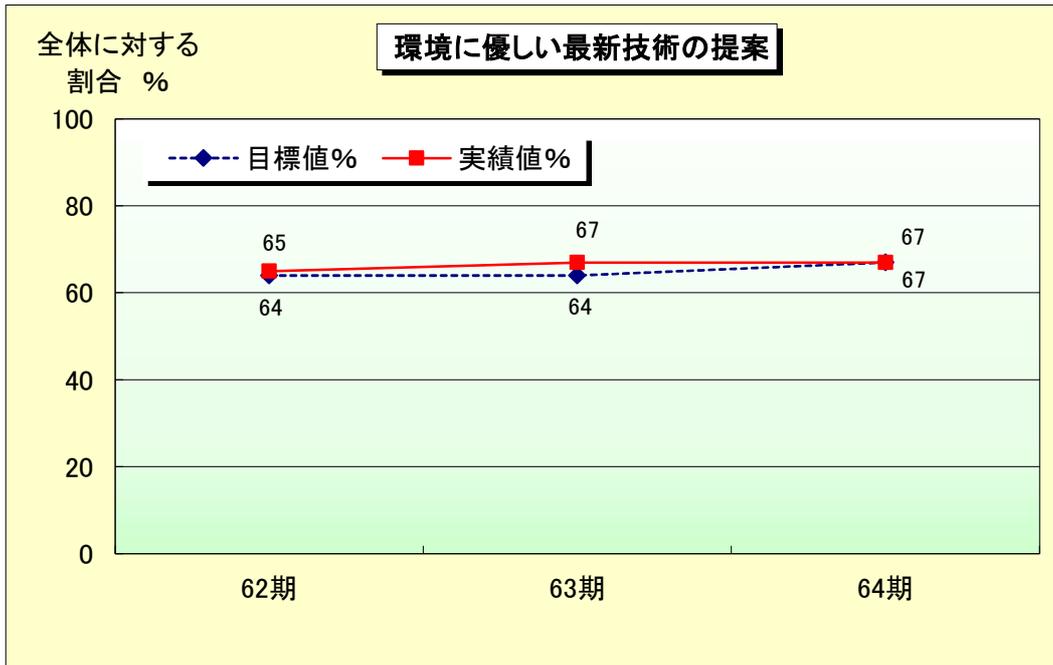
責任者	役割・権限
社長	環境経営方針決定 環境経営システムの承認、環境への取組みを実行するための資源を用意 環境管理責任者を任命 環境経営システムの評価・見直しを実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築・運用 環境経営システムの運用状況等を社長に報告 環境活動全般の総括・チェックを実施
環境管理GPリーダー	環境管理責任者の補佐 環境経営システムの運用推進
エコアクション21推進GP	環境活動に関するアナウンス活動等を行う 各種報告書の作成
従業員	環境管理責任者、GPリーダーの指示に基づき協力して行動する

8. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境に優しい最新技術等の提案

【定性目標】

	62期	63期	64期	
目標値%	64	64	67	提案に努める
実績値%	65	67	67	提案に努めた



取組内容

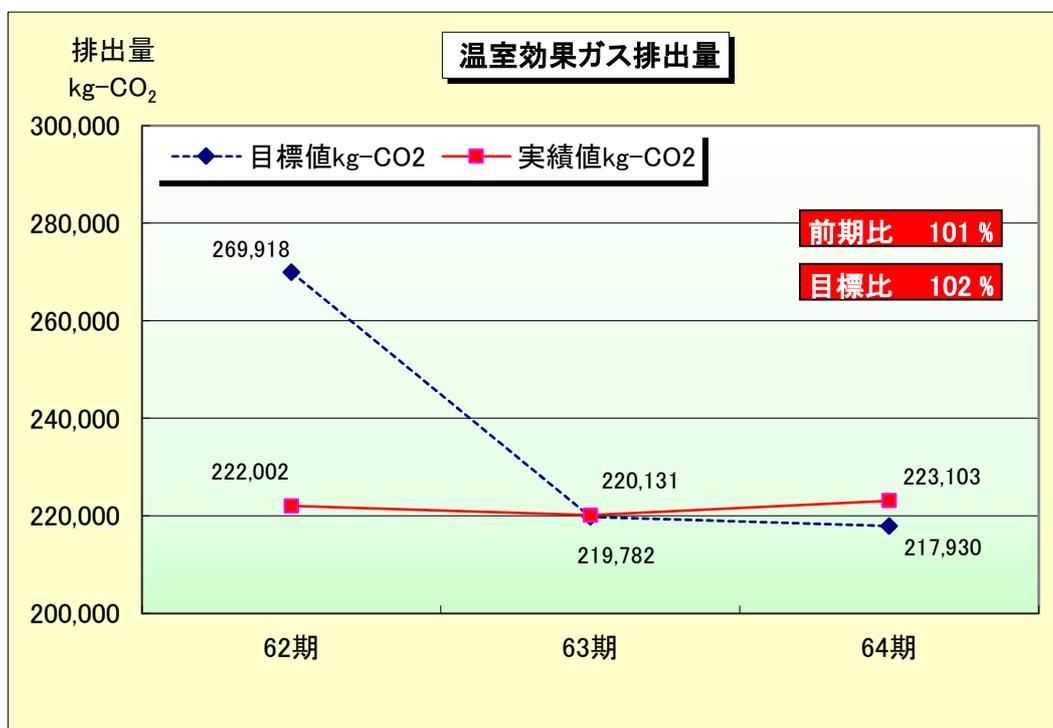
- 社内の技術力向上を目的として、年4回程度の勉強会を定期的で開催する。
- 書籍やWeb等から収集した技術情報を業務に活用し、発注者への提案に積極的に取り組む。

《次年度の取組み》

- 環境負荷の軽減を目的とした計画の提案
- 環境に配慮した材料、施工方法、建設機械の選定・提案

温室効果ガス排出量

	62期	63期	64期
目標値kg-CO ₂	269,918	219,782	217,930
実績値kg-CO ₂	222,002	220,131	223,103



『電気使用量(購入電力量)による結果 119,152 → 112,890kg-CO₂(前期比 -5%)』

電気使用量(購入電力量)からの二酸化炭素排出量は、省エネエアコンの入替えにより前期比-5%となった。

『化石燃料使用量による結果 100,979→ 110,213kg-CO₂(前期比 +9%)』

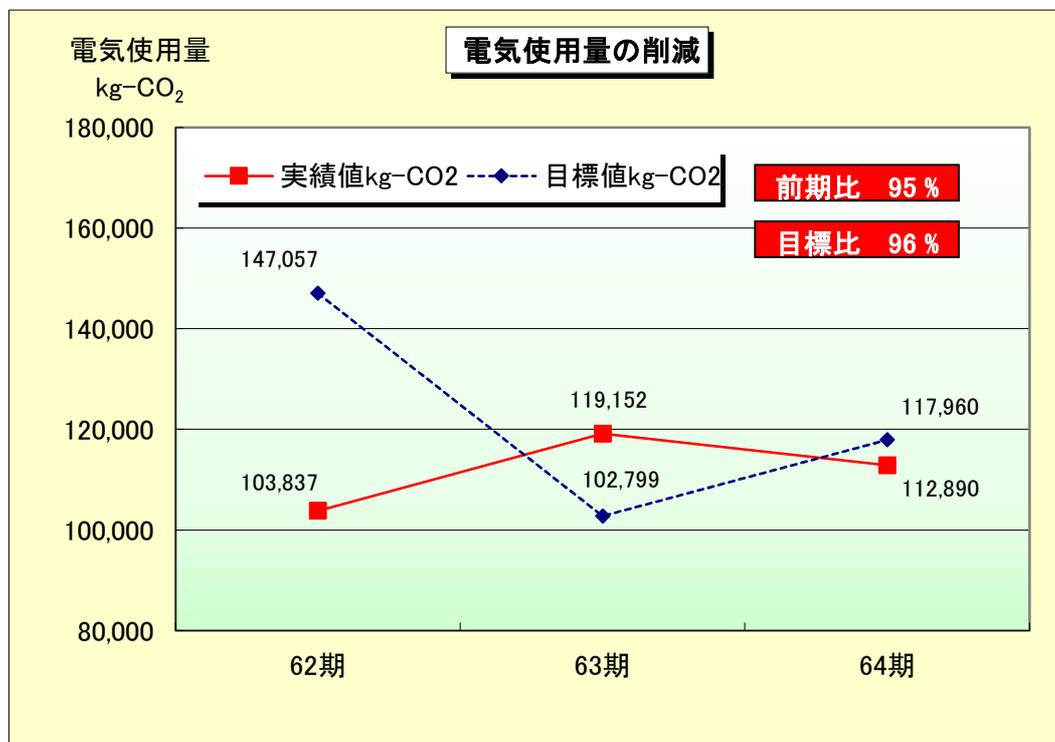
化石燃料使用量は、令和6年能登半島地震支援業務をはじめとする遠方への移動の増加により、前期比+9%となった。

《次年度の取組み》

来期は、「二酸化炭素排出量・電気使用量・化石燃料使用量」を今期実績値の-1%とするよう活動していく。

電気使用量(購入電力量)の削減

	62期	63期	64期
目標値kg-CO ₂	147,057	102,799	117,960
実績値kg-CO ₂	103,837	119,152	112,890



全館LED照明



デマンド監視システム

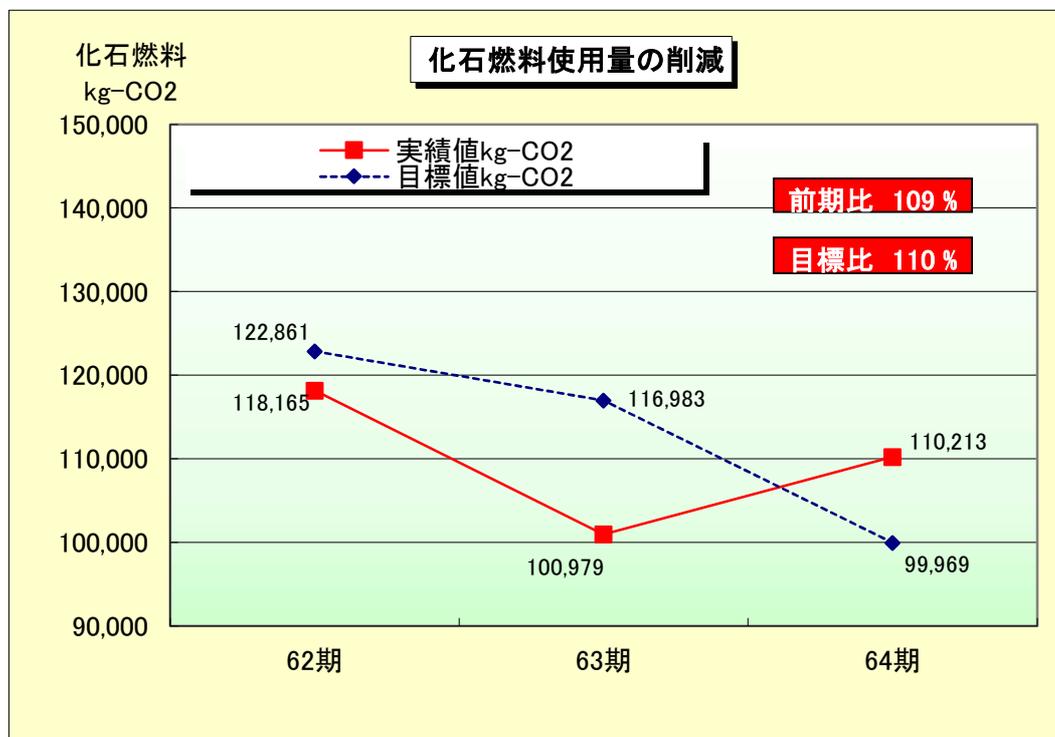
電気使用量(購入電力量)は、記録的な猛暑の影響によりエアコンの使用頻度が増加したが、省エネエアコンへの入替えにより、前期比-5%となった。今後とも、エアコンの節電・細かな消灯・エレベーターの使用を控える等の取り組みにより、可能な限り削減に努めていく。

《次年度の取組み》

- エアコンの温度設定の徹底(冬季 21度以下、夏期 27度以上)
- 不要電気、休憩時間の消灯を徹底する(エリア消灯、未使用PC等の電源オフ)
- 省エネルギーの観点から、エレベーターの使用は3フロア以上の移動時に限定し、

化石燃料使用量の削減

	62期	63期	64期
目標値kg-CO ₂	122,861	116,983	99,969
実績値kg-CO ₂	118,165	100,979	110,213



化石燃料使用量は、令和6年能登半島地震支援業務をはじめとする遠方への移動の増加により、前期比+9%と増加した。今後とも、社用車のサイズダウン(普通車→軽自動車)・エコカーへの買い換え等により、二酸化炭素の排出削減に努めていく。

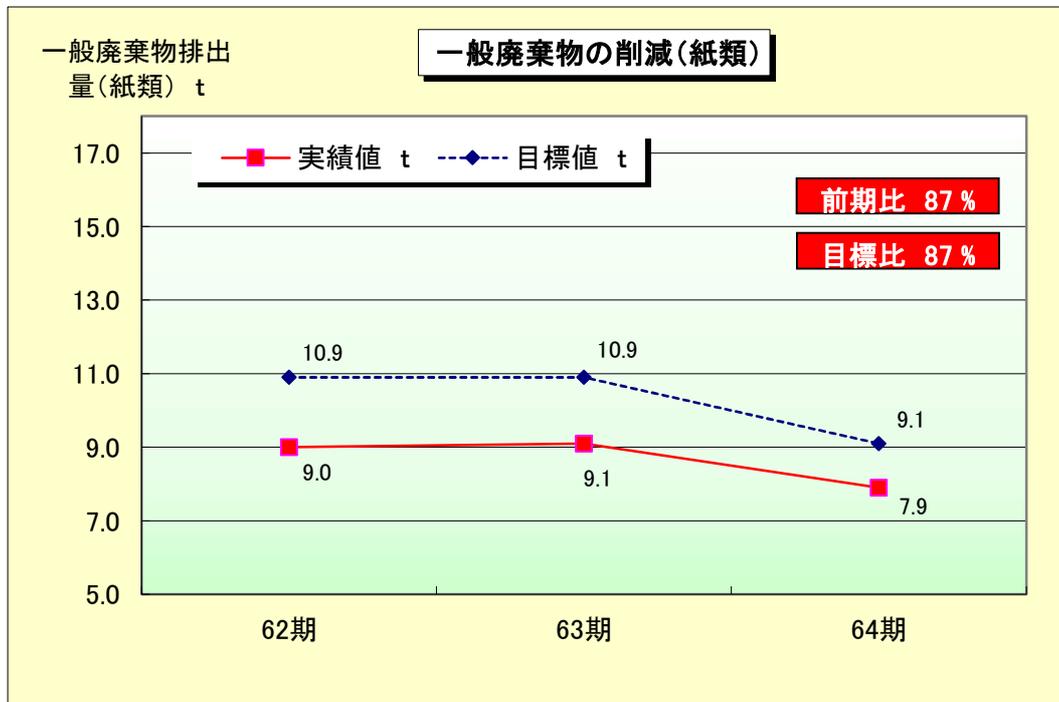
《次年度の取組み》

- 車両点検の実施(週1回 適切な空気圧等)
- エコドライブを徹底する(急発進、急加速、無駄なアイドリングをやめる)
- 社内におけるリモート会議を積極的に活用する。

一般廃棄物の削減(紙類)

【定性目標】

	62期	63期	64期	
目標値 t	10.9	10.9	9.1	維持管理に努める
実績値 t	9.0	9.1	7.9	維持管理に努めた



一般廃棄物の排出量は、前期比-13%の減少となっている。ノートPCの持ち歩きによる会議資料のペーパーレス化を推進することで、廃棄物(紙類)の削減を目指していく。

《次年度の取組み》

- 紙の再利用を推進する(社内文書への利用等)。
- ドキュワークス、PDFの使用を推進する。
- 裏面/両面コピー・印刷を推進する。
- 電子メールを活用する。
- ノートPCを使用したペーパーレス会議を推進する。

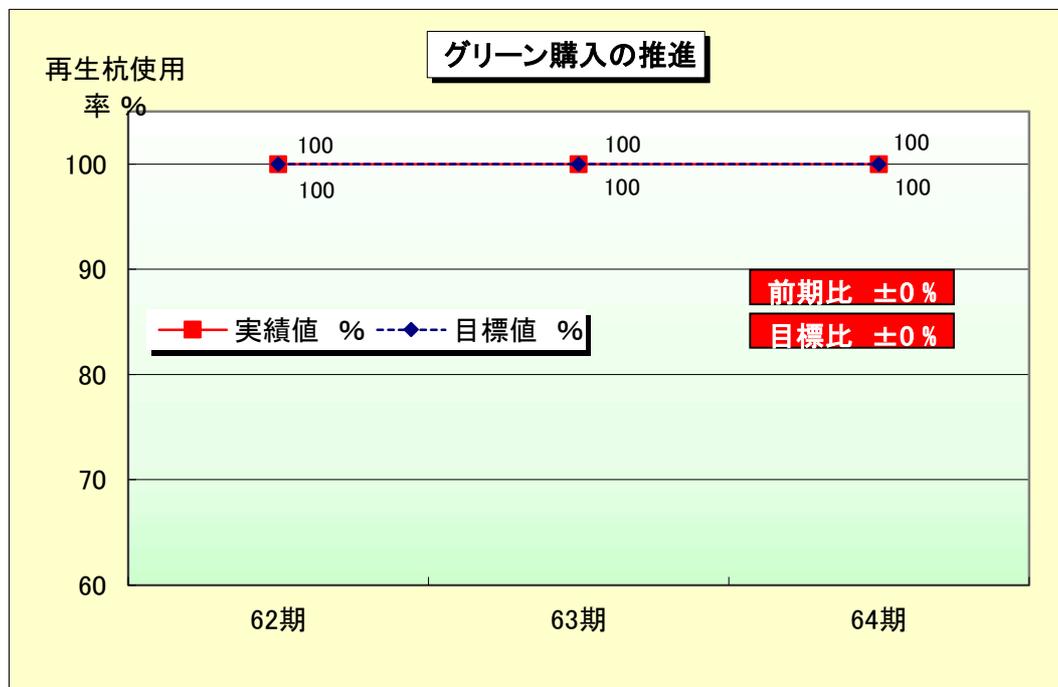


燃えるゴミ3種類 + リサイクルビニ・プラ + 不燃物 + 溶解 6種に分別を行っている。



グリーン購入の推進(再生杭使用率)

	62期	63期	64期
目標値 %	100	100	100
実績値 %	100	100	100



グリーン製品 コピー用紙



グリーン製品 ファイル



グリーン製品 測量杭

測量杭やコピー用紙・事務用品・日用品の再生品使用率を高める。測量杭については今期も100%再生杭を使用した。

《次年度の取組み》

- 測量杭は再生杭を購入する。
- 日用品、事務用品はリサイクル可能なものを使う。
- エコマーク商品を積極的に購入する。

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等一覧表

環境関連法規等の名称(略称)	該当する活動	遵守状況 チェック
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	製品やサービスの購入に際しては、環境への配慮を念頭に置き、真に必要なものかを検討した上で、可能な限り環境負荷の少ないものを選定・購入する	✓
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	廃棄物の減量および資源の有効活用の観点から、廃棄対象となる家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機)については、製造事業者等による回収・リサイクル制度を活用する	✓
資源有効利用促進法(パソコンリサイクル法)	限られた資源の有効活用および廃棄物の削減を目的として、使用済みパソコンについては、メーカー等の回収・リサイクル制度を活用する	✓
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	省エネ・再エネ設備の導入、脱炭素経営の推進、排出量の「見える化」等を行う	✓
環境基本法	資源の効率的利用と廃棄物削減、生態系保全活動、環境配慮型製品の選定・購入等を行う	✓
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	ごみの分別(燃えるごみ、資源ごみ、不燃ごみなど)、産業廃棄物保管基準の遵守、産業廃棄物管理票の発行・確認・保存(5年)、収集・運搬及び処理委託契約、管理表交付状況等報告書提出、処理委託先の実地確認(優良事業者を除く)	✓
下水道法	排水設備の設置や使用開始等の届出を行う	✓
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	業務用エアコンの点検および機器廃棄に際しては、フロン類(フロンガス)の適切な回収を実施する	✓

当社においては、現在、環境関連法規に関する違反は確認されておらず、関係当局からの指摘や近隣住民からの訴訟・苦情等も発生しておりません。

2025年11月7日 確認者:山田 真弓



10. その他の活動（環境貢献活動）

🌱 浜松市省エネチャレンジ認定制度



浜松市が再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化に取り組む事業者を再エネ・省エネ事業者として認定する制度です。2017年度から“省エネチャレンジ認定事業所”に認定されています。

- [主な取り組み]
- ・ デマンド装置による電気使用量の監視
 - ・ 社屋全照明のLED化
 - ・ 社屋屋上に太陽光発電システムの設置
 - ・ エコドライブの社内講習会実施

🌱 環境保全活動

🌱 [静岡県] 一社一村しずおか運動



一社一村運動は、企業と農村の協働活動によって地域の活性化を図る運動です。当社は、2008年より浜松市浜名区引佐町の久留女木棚田にて、「久留女木棚田の会」の皆さんと田植え・草刈りを実施しています。



🌱 [浜松市] 河川愛護活動

当社は、浜松市河川里親制度に登録し、2021年より浜名区染地川の美化と自然環境の保全に寄与する河川清掃活動を実施しています。



🌱 [掛川市] 希望の森づくり 植樹祭

森はあらゆる生物の生命の源泉と言われていますが、私たちの水源を守る源流部の森林も、津波を減衰してくれる海岸部の松林も荒廃が進んでいます。当社は、希望の森づくりパートナーとなり、2013年より掛川市の海岸防災林の保護を目的とした植林・育樹活動に参加しています。



🌱 [静岡市] 道路サポーター

道路は最も身近な公共空間として美化や緑化そして安全に関して、多くの方が関心を寄せています。そうした地域の方々と行政が一体となって、より安全・安心・快適な道路空間を創り上げていくことを目指し、「静岡市道路サポーター制度」が創設されました。当社は、2013年より静岡支店周辺の道路清掃活動を実施しています。



🌱 [静岡県] しずおか未来の森サポーター

当社は、地域の暮らしを守る浜松市の海岸防災林の機能向上及び景観維持のため、清掃・草刈り等の活動を実施し、未来へ引き継ぐことを目的とした静岡県の「しずおか未来の森サポーター」に、2022年から参加しています。



🌱 [本社屋上] 太陽光発電システム



$$\text{最大出力} = 245\text{W(定格出力)} \times 132 \text{ 枚(パネル枚数)} = 32.34\text{kW}$$

今期の発電量 (kWh)

2024年11月	12月	2025年1月	2月	3月	4月
815	1,461	2,518	3,088	3,440	3,208
5月	6月	7月	8月	9月	10月
3,558	4,272	3,453	4,341	4,842	3,746
年間発電量					38,742

【CO₂削減効果】

$$\text{スギの植林本数} = 38,742\text{kWh} \times 0.423\text{kg-CO}_2/\text{kWh} \div 68\text{kg-CO}_2/\text{本} = 241 \text{ 本}$$

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 見直し関連情報

項 目		確 認（必要に応じて評価・コメント記載）	
1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	
2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	二酸化炭素排出量は、目標値をわずかに上回る結果となりました。
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	目標達成に向けて 継続的に取り組みます。
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	特にありませんでした。
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	
8	その他（ ）	<input type="checkbox"/>	

2. 代表者による見直し指示

見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 無	
2	環境経営目標	有 無	
3	環境経営計画	有 無	
4	実施体制	有 無	
5	その他のシステム要素	有 無	
6	その他(外部への対応)	有 無	

3. 代表者による総評

当社がエコアクション21に取り組み始めてから、まもなく17年を迎えます。従業員の間では「省エネ」を意識した行動が定着しており、消灯の徹底など、日々の業務においてもその姿勢が表れています。

各項目の実績については、記録的な猛暑の影響によりエアコンの使用頻度が増加しましたが、高性能な省エネ型エアコンへの更新により、電力使用量の抑制に成功しました。一方、化石燃料の使用量については、能登半島地震の被災地支援に伴う移動距離の増加により、相対的に増加しています。

近年の異常気象によりエアコンの使用が増加するなど、環境負荷の削減は容易ではありませんが、今後も地球温暖化防止および経費削減に資する活動として、エコアクション21への取り組みを継続的に推進してまいります。

2025年11月14日

不二総合コンサルタント株式会社

代表取締役 牧田 敏明